

# CS(学校運営協議会)だより

～やさしいところをひろげよう～



第3号(通算26号)  
海老名市立東柏ケ谷小学校  
令和4年10月14日  
委員長 芳賀 敬子  
校長 小林 文記

\*CSとは、コミュニティ・スクール(Community School)の略称です。学校運営協議会を設置する学校のことをコミュニティ・スクールとよび、学校・家庭(保護者)・地域が一体となり、協働して子どもたちの成長を支えていく仕組みのことをいいます。本校の学校運営協議会は、今年度で4期目(7年目)を迎えます。

## 中学校区での小中合同学校運営協議会が始動!

この度、柏ケ谷中学校区での学校運営協議会を実施することになりました。本校に加え、柏ケ谷中学校、柏ケ谷小学校、杉本小学校の計4校で、中学校区の地域や児童生徒の様子、学校の課題や状況の把握、各小中学校での学校運営協議会の様子などを互いに共有します。

学校運営協議会では、「共通の目標を共有すること」を重視しています。その目標のもと、学校運営協議会のメンバー\*で熟議を重ね、よりよい学校運営をめざします。学校・地域・家庭(保護者)が一体となり、「地域とともにある学校」にしていくことが求められています。

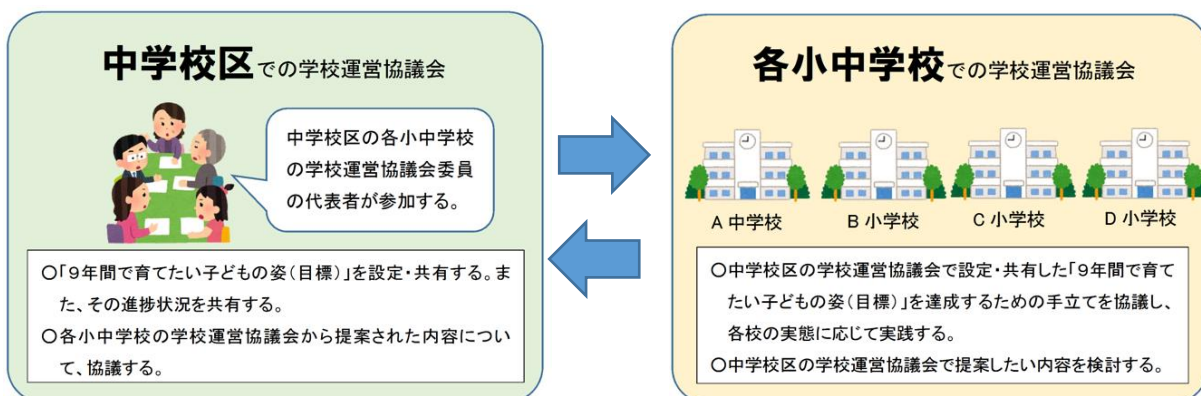
9月2日(金)に柏ケ谷中学校にて、第1回の会議が開催されました。そこでは、海老名市教育委員会の担当指導主事より、趣旨説明が行われ、中学校区で学校運営協議会を開催する意義や必要性の共通理解を図りました。その後、グループ協議を行い、柏ケ谷中学校区の目標(重点テーマ)を話し合いました。「学力」「体力」「自己肯定感」「あいさつ」など、9年間で育てたい力について話題にしました。最終的に決定した柏ケ谷中学校区学校運営協議会の目標は、次の通りです。

### 「つながる」⇔「つなげる」柏中学校区

人と人のつながりを中心にして、地域のよさに気づき、自らが地域に生きる人として、何らかのつながりを生む。そのつながりの輪が少しずつ広がり、様々な資質や能力を相互に身につけていくことが大切であるという話があがりました。本校としては、地域でのつながりから「東柏ケ谷が好き」という気持ち生まれ、地域に愛着と誇りをもてるような児童を育てていきたいと考えています。引き続き、皆様のご理解とご協力をよろしく願います。

\*本校の学校運営協議会のメンバーは、校長・学校応援団事務局・地域コーディネーター・PTA会長・学区連絡協議会長・自治会長・長寿会長・あそびっ子パートナー・民生児童委員・元学校評議員・青健連・学識経験者で構成され、事務局として教頭・教務担当・地域連携担当が参加しています。

### 中学校区学校運営協議会の概要(引用:海老名市教育委員会教育支援課指導係より)



# 「もしも」に備える。地域でみんなの命を守る。

2学期の始業式（8月29日（月））に市内の小中学校で、それぞれでの学校防災計画のもと、引き取り訓練が行われました。大規模地震を想定し、避難方法の共通理解や沈着に避難する態度を養うことを目的として訓練を実施いたしました。柏ヶ谷中学校区においても、4校同時の訓練を実施しました。保護者の皆様にはご多用の中、訓練にご参加いただき、ありがとうございます。防災意識を高める機会として、これからも大切にしていきたいです。

同日には本校で、避難所開設運営訓練も実施いたしました。開設メンバーは市職員をはじめ学校教職員、PTA本部役員、各自治会の自主防災隊の皆様で構成され、学校ごとの避難所開設を要する災害等が起こった場合に、どのような体制で市民の受け入れを準備するかを確認しました。



訓練を通して見えてきたこととして、災害から身を守ることに他に、「感染症対策」や「福祉」、「動物の命も守る」という視点で議論がなされました。以下のような話題です。

- コロナウィルスの症状（発熱等）がある人はどのような経路で案内し、避難してもらうか。
- 車いすで生活している人が移動する際、もし停電していてエレベーターが使えないときは、どこに避難してもらうか。
- ペットと一緒に避難してきた場合、どこにペットゾーンを設けるか。また動物アレルギーをはじめ、動物に慣れていない人への配慮をどうするか。

訓練中、「もしも」に備えて、話し合いながら互助について考える姿から、地域力を感じ取るとともに、できるだけ多くの方に避難所の認識を高めていただきたいと思います。今回挙げられた成果や課題は、来年度以降に引き継ぎ、関係者との協力のもと、よりよい避難所開設をめざします。